

本作は現在こちらの展覧会に
貸し出し中です

展覧会
情報

「長崎開港450周年記念
長崎港をめぐる物語」

4月7日(水)～6月13日(日)
長崎県美術館

長崎市出島町2-1 TEL:095-833-2110
<http://www.nagasaki-museum.jp/>



十八親和アートギャラリー
Juhachi Shinwa Art Gallery

当行で所蔵する作品を紹介します



▲山下清 1922～1971 《長崎風景》1963年制作 貼り絵 84.8×99.3cm 十八親和銀行所蔵 ©山下清作品管理事務所

今回ご紹介する山下清の《長崎風景》は、旧十八銀行が所蔵してきたものです。長崎港を一望する風頭公園からの眺めを大小様々な紙片を用いて描いています。手でちぎった大きさも形も異なる不揃いの色紙は、数ミリほどの極小サイズから数センチと大きめのもの、紙縫りにしたものがあります。これらが幾重にも貼り合わされ、絵具を混色したように微妙で複雑な色合いを表現しています。街並みや山の木々、海面などが仔細に表現される一方で、空には大きな紙片がリズムカルに配され大らかな雰囲気漂います。

東京に生まれた山下清は、13歳の時に千葉県の実業施設「八幡学園」でちぎり絵と出会います。その後、独自の貼り絵を確立し、ペン画や油絵、陶磁器の絵付けなども手がけました。昭和を代表する画家の一人として知られ、没後50年を迎える今日もなお、その作品は人々を魅了し続けています。

当行には本作ともう1点、長崎を主題にした《長崎の景色》があります。ほぼ同じ大きさのこの2点は、山下清が1963(昭和38)年に長崎を訪れた際に銀行が制作を依頼したものです。

現在、長崎県美術館で開催中の長崎開港450周年を記念した展覧会に、これら2点の他、野口彌太郎の《長崎の港》、宮本三郎の《長崎の風景》を貸し出しています。

(十八親和アートギャラリー学芸員 藤松綾子)

十八親和
アートギャラリー

開館時間: 10:00～16:00(入館は15:30まで)

休館日: 日・月・祝日、年末年始(12/31～1/3)

※土曜日が祝日の場合は開館

長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F

鑑賞無料

TEL0956-23-4856

西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分

JR佐世保駅から徒歩約20分

